



# 六が夢中!

発行 近隣中学校代表  
野田市立第二中学校  
第 5号  
令和4年9月28日

## 『それを青春（アオハル！？）と呼ぶ！！』

小学校は「運動会」、中学校は「体育祭」、同じようなことをやっているのに呼び方が違う！？

なぜ、小学校から中学校に上がると呼び方が変わるの！？ 内容も違うの！？・・・??  
実はどちらも同じ体育的行事で、何て呼ぶかは、各学校が歴史と伝統の中で決めています。  
近隣では、一中は「大運動会」二中は「体育祭」です。（中学校は体育祭が多いようです）  
内容の違いの例をあげると、赤白で分かれるのではなく、同じクラスナンバーで組（チーム）を作ります。（これをシスターと呼びます）小学校の異学年縦割り活動みたいなものですね。  
例えば、1年1組と2年1組と3年1組で赤組をつくる、とかです。  
二中は3色対抗（赤・青・黄）ですが、大きい学校では、6色対抗とか8色対抗もあります。

取り組みも一週間前から、朝からずっと体育祭の練習をする学校が多くあります。夏休みから準備や練習をすることも。それも先生方に頼らずに、ほとんど自分たちだけで・・・

だからとても大変です。苦労がつきません。なかなかうまくいきません。心も体も限界を超えて、へとへとになることも・・・

でも、当日はすごく盛り上がります。各色とも3年生を中心に優勝や応援賞などをとるために本気でぶつかり合います。当日までが大変な分、終わった後に残るものは、とてつもなく大きく価値のあるものになります。汗あり、涙あり、熱くて、激しくて、「お祭り」そのものです。

6年生を中心とした運動会も素晴らしいけど、中学校の体育祭は一味も二味も違いますよ！

ちなみに、二中には「体育祭」の他に、「歓迎祭」「文化祭（紫桜祭）」「感謝祭」があって、『二中4大祭』って呼んでます。まさに青春、すごいでしょ！！

（第二中学校 校長 杉崎）

### ●中学校の主な行事（10月～11月） ※学校によって多少時期が違います。

10月 生徒会役員選挙・・・3年生から1・2年生へ、活動の中心が代わります。

生徒会長などを選ぶために立会演説会を行い、投票します。

東葛駅伝大会・・・東葛地区の約70校が参加する伝統ある大きな大会です。今年は松戸市をスタートして、野田市清水公園競技場でゴールします。

市内音楽会・・・2日間で開催。小学校同様、音楽部等が参加します。

11月 文化祭・・・文化部の発表を中心に盛り上がります。〇〇祭という独自の名も。

合唱コンクール・・・歌声発表会の中学校版。最優秀賞を狙って競い合いことも。

P T Aバザー・・・P T A主催の楽しいイベント。買い物、食べ物のお店なども。

定期テスト・・・第3回目（後期1回目）の大切なテストになります。

※土日には運動部活動の大会があります。1・2年生の葛北新人戦です。（県大会も）

※感染症拡大防止のため、学校の状況に応じて、行事の中止や縮小もあります。

◆11月12日（土）の第二中学校の授業見学会（対象：中央小）については、10月下旬に別紙にて詳細をお知らせいたします。（現時点で 8：20～10：10 を予定しています）  
※同日、二中P T Aバザーの開催もありますのでご承知おきください。



☆1年生からのメッセージ『体育祭を終えて』です。 (出身小学校・名字イニシャル)

最初は応援団になって、みんなの前で発言するのが緊張していたけれど、みんなと協力したり、応援したり、競技をやる中で、最後にみんなの前で発言する時は、自信を持てたので応援団になって良かったと思いました。

(赤組：中央小・I)



体育祭を終えて、私は周りを見て行動する力が身につきました。体育祭の練習では時間ごとにそれぞれ活動する場所が違うので、応援団中心に呼びかける必要がありました。たまに間違ったり、失敗してしまうこともありましたが、そのような経験もあったからこそ身についた力だと思います。私はこの力を今後の学校生活に生かしていきたいと思います。

(赤組：中央小・Y)

初めての体育祭は、3年生も体験したことのない体育祭で、色々なことを知ることができました。初めて応援団となり、仲間の大切さを知ったり、友達と協力することで仲が深まったりした体育祭でした。他にもみんなと一緒に喜びや悲しみを感じることができました。3年生と2年生との交流では、先輩との仲が深まりました。楽しさだけではなく、色々なことが知れた体育祭になりました。

(青組：みずき小・O)

初めての体育祭を経験し、様々なことを感じました。私は応援団をやりました。人に指示を出すことが苦手な私がみんなの前に立ちどう引っ張っていくか、とても悩みました。だけど、クラスメイトや先輩たちに助けをもらいながら頑張ることができました。少し自分に自信が持てるようになりました。私のシスターは応援賞も総合優勝も獲れなくて泣いている人達がありました。その涙を見て、私は全力で頑張ったからこそ出た涙なんだと感動しました。私も自然に涙が流れるくらい我武者羅に様々なことに取り組んでいきたいです。

(青組：宮崎小・K)



中学校の体育祭は、3年生が中心となり、シスターで協力して作り上げていく所が楽しいと感じました。ダンスリーダーや係の仕事を通して、自分も体育祭を盛り上げることができてよかったです。(黄組：宮崎小・S)

僕は応援団として体育祭を終えて、結果的に「みんなをまとめるのが、少し大変だったけれど、楽しかったな」と思いました。体育祭では、1年生の応援団は、1年生全員をまとめなければいけないので、大変でしたが、その分、達成感がとても大きかったので良い思い出になりました。(黄組：宮崎小・S)

僕は応援団として、体育祭に取り組み、とても責任を感じました。一回でも時間に遅れたりすると応援賞の持ち点から減点されるので、気をつけたりすることで、普段の学校生活を見直すきっかけになりました。競技も一つ一つ盛り上がって楽しかったです。

(青組：宮崎小・S)

中学生としての初めての体育祭は、迫力に圧倒されました。競技一つ一つに青組全員が応援してくれたおかげで、持っている力を全て出し切ることができました。中でも学級対抗全員リレーでは、時間を見つけては、バトン練習をしたり、走っている人をみんなで応援したことで、1位をとることができました。クラスの絆がより深まったのはこの時だと思いました。体育祭は順位も大切だけど、一生懸命やって絆を深めることも大切なのだと思いました。

(青組：南部小・N)

